

心友会だより

第 4 2 0 号
5 月 ・ 6 月 合 併 号

昭和44年6月1日創刊
平成22年5月8日発行
発行所及責任者
川崎市多摩区東生田4-13-17
電話番号 044-976-0708
郵便番号 214-0031
宗教法人出雲心友教会
編集兼発行人 佐藤武彦
奇数月8日1回発行
1部150円 (送料共)
年間購読料1,800円

春季例大祭

今年も五月三十日の春季例大祭まで半月余りとなりました。さて、この大祭ですが、一番の特徴は、御扉が開き直接大神様からの波長



御扉が開いている出雲の十九社 (神在祭にて)

(恩頼) をお受けになれるという点です。

もちろん、御神体も拝見できるのです。

これまで何度も申し上げてまいりましたが、大神様は、ご利益を求めない感謝のおまじりを一番お喜びになられます。

大国主大神を信仰している私たちは、少なくとも感謝の気持ちだけは、いつでも忘れずに持ち続けたいものです。

人間は、自分の意志で生まれ様として生まれることの出来るものでは決してありません。

つまり、自分一人が勝手に生きているのではなく、はるかな祖先からつながる大きな意志によって、今ここに『生かされている』のです。

我々人間は、この世(顕世)に、前世(生まれ変わる前)の果たしや、先祖の

因縁などを受け継いで、今日に至っているのですから苦難は避けられないところですが、自分の為にも子孫の為にも新しい因縁だけは作らない様に、毎日を生生活して行きたいものです。

そして、『生かされている』事に対して感謝の念を常に持ち続ける努力をしなければなりません。

現在、感謝の言葉として一番使われるのは『ありがとう』という言葉ですが、本来の意味は、神のお手振りによる奇跡や恵みに対して、有ることが難しい、有難しと神を讃えて発した言葉だと言います。

この世の中、自分の意志とは関係なく多くの人間が生まれ、そして死んでいきます。

この現実を考えてみれば『生かされている』ことがいかに『有難き』ことがわかるはずですが。

大神様に対しては『苦しい時の神頼み』の人が多くと思います。

しかし、大神様は、『来たる者』に対しては、いつでも大手を広げて待っている

て下さいます。そして、大神様の波長は、我々の魂を浄化して下さいます。

一般の方々は、仏語は色々知っていても、幸魂奇魂(さきみたま)守給(まもりたま)幸給(さきはたま)という

神語を知らないという方は、残念ながら多数いらっしゃるのが現状です。

しかし、最近になってようやく、大きな神社では、神語が書かれた札が目につくようになりました。

信者の皆様は、もちろん神語を機会あるごとに唱えているので良くご存知だと思いますが、
『味ですか?』と聞かれて答えられない方は、案外少ないのではないのでしょうか。

幸魂(さきみたま)とは人を幸福にならしめる活動のみたまです。

奇魂(くしみたま)とは目に見えない不思議な力を発揮するみたま、また、ものごとをくしわけて、正しい信念を持つみたまです。

神語に出てくる『魂』には、このような意味があり

大国主大神の真の神たらしめた魂そのものです。わかりやすく言いかえま

すと、人生には目に見える世界だけでなく、目に見えない世界の真理のあることを、大国主大神は、御自分の体験をとおして私たちに教えられたのです。

大祭は、最も重要な御祭です。

皆様も春季例大祭に参列され、大神様からの良い波長のシャワーを直接浴びて魂を浄化して頂き、気力を奮い立たせましょう。

皆様の心からのおまじりを大神様もお待ちのことと思えます。

春季例大祭式次第

- 浦安の舞
- 参進
- 修祓
- 開扉
- 総拝
- 献饌
- 謝恩詞
- 祝詞
- 出雲の巫女舞
- 玉串拝礼
- 総拝
- 斎主挨拶
- 退下



大祓祭

古来の日本人は、目に見えない神々や先祖に対して畏敬の念を持って毎日を生活して来ました。

現代の日本人はと言うと科学の進歩や経済の発達に伴って、こうした目に見えない神々や先祖の霊の存在までも信用しない人々が、あまりにも多過ぎます。

そればかりでなく、人間自身の都合で、勝手に自然を破壊したり、大気を汚染したりしています。

『便利な生活』の代償として『健康な身体』を失う事は、火を見るより明らかなのにもかかわらず…。

全ては神からお授かりした尊い生命なのです。今年も大祓祭が近づいてまいりました。

大祓祭は、我が国上代から行われている祓式です。一定の制式として定められたのは、大宝令、ついで延喜式で、式の祝詞式のうちに、六月、十二月の大祓詞が載せられています。

六月は、五行でいうと、夏と秋の交替期にあたって

います。

昔から不思議な事には、この時期にはどういいうわけか疫病や水害が多く、対立関係にある二つの季節が打ち合うからだとされています。

また、人の身に振りかかる災いや穢れは、区切りのよいところで祓う必要もありました。

そのために行われるのが六月晦日の大祓祭で、特にこの大祓祭を夏越の祓と呼んでいます。(ちなみに出雲心友教会では、最終日曜の二十七日です。)

ひと口に祓いの方法と言っても様々な種類があります。水をもって心身を清める禊ぎや、火打ち石による切り火の祓い、祓幣による祓いや茅の輪をくぐる方法など数多くありますが、何と云っても極めて重要なのは言霊によるものです。

もちろん出雲心友教会でも当然、この言霊による大祓祭を行っています。人間は、日常生活において、知らず知らずのうちに言葉などで人を傷つけて

るものです。

その罪穢れを自分自身が発する言葉、すなわち言霊で祓い清めるのです。

大祓詞は、約九百文字からなり、この中には我が国体のあり方、天皇統治のあり方及び国民の罪を祓い清めて、正しい人間になるためにどうすればよいか、祓いの方法が皇祖神の遺訓として、おごそかに宣言されています。

天罪と国罪とを祓う起源は上代にあつて、日本書紀ではスサノオノミコトの犯した罪によって天岩戸が閉まり、これを開く段に、天児屋命の奏上した祝詞を、「解除の太諱辞」と称して

ありますが、これが大祓詞に相当します。古語拾遺でも天罪・国罪は、中臣祓詞にあると見えているように、上代から大祓のあったことを示しています。

大祓は、平安末に衰え、応仁の乱以後には中絶してしまいました。明治維新後の一八七一年に旧儀を再興して、天下一般に執行せしめることとなりました。

それ以後、大祓は皇室に

おいても百官の代表を召して行なわれ、全国の神社においても氏子の代表を集めて執行しています。

私達の祖先の頃は、海には海の神、山には山の神、土には土の神という様に、森羅万象ごととくに魂が宿っていると信じて生活していました。

『万葉集』にも「敷島の倭の国は言霊の佑くる国ぞ」(柿本人麻呂)とあります様に、日常の会話の中にも言葉の神、即ち言霊が存在する事を信じて疑わなかったのです。

人間の歴史においても、何らかの折に発せられた一言によって心が動かされ、人生を大きく変えていったと言う様な例は、数多くあります。

それ程、言葉には重要な波長、即ち言霊が存在しているのです。

言葉は心の鏡です。尚、六月二十七日(日)の当日、大祓祭におみえになれない方は、ご自宅の御神前で大祓詞を三回奏上して下さい。

心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン
心友会だよりを年間千八百円(二部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。
(郵送先をお知らせ下さい。)

●会長先生のご著書でございます
会長先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」、「神霊の奇跡」、「神のこころ・霊のめぐみ」、全て、末広会にて販売しております。
在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。

●ご不明な点等、ございましたら
〇四四(九七六)〇七〇八 佐藤まで

大自然の恵みを活かして住もう 省エネ 活性化住宅

太陽で24時間床暖房 **ハイブリッド ソーラーハウス**
奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間(全館床暖房) エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。
下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。
出雲心友会 横浜支部会員
My Hands 有限会社白幡工務店
〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp
代表取締役 金子文雄

末広会コーナー
●各種贈答品承ります。
多少に拘らず、お気軽にご用命下さい。
●冠婚葬祭用カタログございます。
自由に選べるカタログオーダー。予算別には、贈答品文庫カタログ。是非ご利用下さいませ。
詳しくはお電話にて。
●宮城県産、キヌヒカリを御奉納米として承っております。
また、ご自宅用としても、名水の逸品のキヌヒカリをお召し上がりください。
発送も致しております。
●多良間島産の黒糖
販売開始
さとうきびから作られた本物の黒糖です。
是非、お求め下さい。
●新製品続々登場
※詳しくは、お店にて。
●他にも多数商品がございます。
お問い合わせ、資料請求は、
〇四四(九七六)二八八二まで

発想をアクティブート。
伝える情報を伝える情報に。
マルチカルチュラル時代の
コミュニケーションサービスを
展開しています。

株式会社 **プレシーズ**
〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20
Tel : 03-3444-7111(代) Fax : 03-3442-5775
E-mail : mails@preseez.co.jp
Homepage : http://www.preseez.com

千家尊福

出雲大社を『記紀』神話から始めて、禁裡（皇居、宮中）との関係を説き、並の神社とはいかに違うかという認識を徹底させるために貢献した人は、幾人もいますが、その中でも忘れてはならないのが千家尊福公です。

尊福は、文部大臣井上毅の求めに応じて、「一月一日」の歌詞をつくりましたが、この歌は終戦まで小学校において、元旦には必ず歌われた有名な歌でした。

明治二十六年八月に官報において公布され、以後、拝賀式などで歌われることになりました。

尊福は旧派の歌人であって、実に多才でした。

しかし、尊福が命がけでかかわったのは、歌づくりよりも神道と政治でした。

伊藤博文の勧めに従い、出雲大社の大宮司の職を弟にゆずって官界に進出。

神道管長から大教院、元老院議員、文部省普通学務局長などを経て、東京府知事や司法大臣を務め、政治

家として活躍しました。

明治の初めに大教院が設置された時の事です。

明治政府は祭政一致をかけた、神祇官を再興しました。これが、明治四年（一八七二）には神祇省と改称され、明治五年（一八七二）には、教部省となりました。

教部省では神社と寺院に関する行政と宣教活動を行なうことになり、まず国民の教化にあたるための「教導職」が設けられました。

この教導職は、神官と僧侶から選ばれることになりましたが、実地の教化にあたる前に、しっかり学習をして、それなりの知識、教養を身につけさせておかねばなりません。

そこで教導職の養成機関として、大教院が設置されました。初め、大教院は麹町にあり、後に増上寺に移されました。

次第に僧侶たちは、大教院から別れていくことになりましたが、そういう動きをきつかけとして、神道内部においては「祭神」をめぐって論争が巻き起こりました。大教院の祭神は、

あめのみなかつのかみ 天御中主神、たかみむすびのかみ 高皇産霊神、かみむすびのかみ 天照大神の四柱と決められていました。

千家尊福は、この四柱に大國主大神を加えて五柱とすべきだと主張しました。

大國主大神は、今さら言うまでもなく出雲大社の祭神です。

本居宣長や平田篤胤の流をくむ神道家および学者は、この意見にももちろん賛成でした。

しかし、伊勢神宮の大宮司である田中頼庸を中心とする伊勢派は、尊福の主張を容れようとはしませんでした。

千家尊福は、執拗に論陣を張り、四度までも提議をおこないました。

そのため、日本中の神社は、出雲派と伊勢派のグループに真二つに分かれて、対立する形となり、論争は蜿蜒と続けられ、容易に決着が付きませんでした。

副島種臣や大隈重信が取調委員に選ばれましたが、結論は得られませんでした。明治十四年（一八八二）の一月、天皇の勅裁によることとなり、残念ながら尊

福は、遂に敗北するに至りましたが、尊福の練り広げた神道論は、堂々たるものであり、彼なりに教義を体系化していることを示して、単なる思いつきなどでは決してありませんでした。

そして、神道そのものの理論を深めることに役立つと同時に、出雲大社と出雲神道の存在をより広く日本中に認識させることになりました。

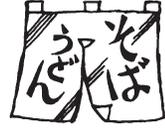
江戸時代に御師（寺社に、祈願する時に仲介をする祈禱師の称）たちの活躍によって、出雲大社の信仰団体が各地につくられていきました。

尊福は、まず「出雲大社敬神講」を結成し、これを「出雲大社教会」と改めて教部省から認可を受けました。

そして自ら、一介の行者の姿となって、衆庶を教化して、大社教の組織をつくる為に、日本各地を巡回して歩きました。

尊福のねばり強い布教活動によって、今の出雲大社教が存在しているのです。

ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。



うきばし

生 庵

新宿区神楽坂 1-10
☎ 03 (3260) 2715

日立チェーンストール
ソーニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

榊原電機株式会社

中野区沼袋 1-2-12
☎ 03-3387-6351(代)



油のことなら何でもご相談下さい。
食用油脂・食品・調味料
石油製品・化学製品

カナダ株式会社

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号
〒111 TEL.03-3861-1311 (代)
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡
http://www.abura-ya.com/
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

人間ドック

疾病の早期発見・早期治療から予防そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史
東京都文京区西片 1-15-10
TEL. 03-3816-5840

ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

らーめんはうす

川崎市多摩区登戸 3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ



宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地 1-4-7
電話 03 (3541) 0164・0177・0370
FAX 03 (3541) 0164

社務所からのお願い

いよいよ春季例大祭の季節となりました。

皆様方から毎年頂いておられます年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円)

年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料

年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料

年間五千円

口座番号は、左記の通り

○二九〇一七―三三八一二

*お手数ですが、通信欄に年会費・管理料の区別を名記して下さい。

大祭の奉賛金と

御初穂料について

いよいよ、春季例大祭が近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸

経費を賄う運営資金として役立たせて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちの形に表わす意味のものです。

(直接、御神前にお供えます。)

古い会員の方々には今更

改めて申し上げる迄もない事で、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛をお願いしてより数十年経過しております)、新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがおわかりにならない方も多分おられるのではないかと思われましたのでその趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいは、自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持ちを思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいませ。その他、皆様方の体験談や質問などごやかな雰囲気の中で、デイスカッション形式で座談会をしておりますので、是非ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は大手を広げてお待ちしておりますので…。

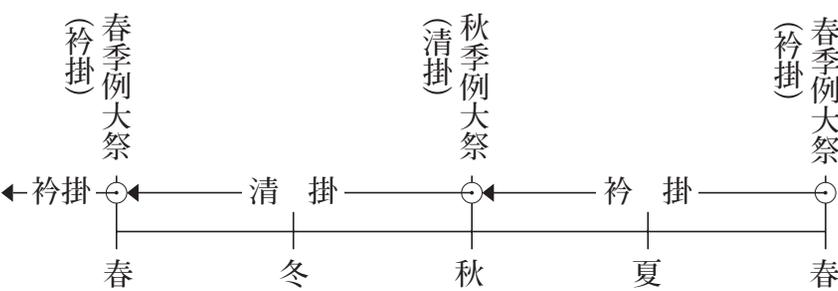
清掛と衿掛について

清掛と衿掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらつしやいますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆春季例大祭当日より秋季例大祭の前日まで衿掛の着用(夏季)

☆秋季例大祭当日より来年度の春季例大祭の前日まで清掛の着用(冬季)



御神札・注連縄等のおとりかえについて

今年もあつという間に四月余りが過ぎました。皆様方は、今年のお札やお守り、注連縄をおうけになりましたでしょうか？

旅行や、お身体の具合が悪かった方、中にはうつかりしていた方もいらつしやるかもかもしれません。

また、誰かが亡くなられて、おとりかえになっていない方もいらつしやるかもかもしれません。

しかし、喪に服している方でも、その家を守って下さっている御守護神に対してのおまいりはもちろん、御神札や注連縄等は、おとりかえしなければなりません。ただし、この場合、三親等以内の方の御不幸の時は、死後五十日間忍び手(音をたてない拍手)にて朝晩の御日供をしなければなりません。

今年の御神札、注連縄等をおうけになっていない方は、大至急おうけになって下さい。

原稿募集中

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想など、どんな小さな事でも結構です。また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。

皆様からのお便りを心よりお待ちしております。

皆様の方で、心友会だよりの紙面を楽しく、内容を豊富にしてゆきましよう。是非、御協力下さい。

広告募集中

○年間三万円より

○内容詳細は

電話にて

お気軽に！

○四四(九七六)二八八二

佐藤まで

正一位中子稲荷 いなり茶屋

~法事会席3,500円より承っております~
水曜日定休
営業時間 午前11時~午後3時
午後6時~午後10時

群馬県北群馬郡伊香保町509-3
天田 信良・典子

TEL.0279-72-4465

願開舟のお話

出雲大社を参詣された方は、宝物館が有る事はご存知だと思います。

中に入ると、ガラスのケースの中に収まっている日記類や、神事に使われた多くの器物、宝物の劔、琵琶や甲冑などの類と一緒に、「願開舟」というのが目にとまらずです。長さ一尺余り、幅三、四寸ほどの丸木舟で、真ん中に数個の賽銭が入るようにくり抜いてあります。表面には、「願開舟・出雲大社様・土佐国本山助藤・寅年男・天明元年丑十月十七日」と彫ってあります。

土佐の本山助藤村に住む志和九郎左衛門という者が出雲大社に祈願して病を癒すことが出来たので、その報恩のために参拝しようと思いましたが、旅費を思うように捻出することが出来ませんでした。そのため、代わりとしてこの一尺あまりの小さな丸木舟を造って、自宅の前の小川に流したのです。それが流れ流れて、三年の歳月を費やして、大

社の稲佐の浜に漂着したのです。

信仰のない者は、この種の話は疑うでしょうが、文人の大町桂月は違っていました。

桂月は、多くの紀行文を残していることで知られていますが、かつて杵築中学で教鞭をとっていたこともあり、また「大社の願開舟」と題して紹介していますので、一部挙げてみます。

その郷貫を見て、余は驚喜しぬ。余の生国なる土佐国の本山村也。余の郷里なる高知市より十里山奥にて吉野の上流に在り。余は一昨年の夏、三十八年ぶりにて高知に帰りし際、阿波の徳島に上陸して、池田まで汽車にて行き、それより吉野川に沿うて、土佐に入り迂路して本山村を訪へり。本山村は、南学の宗にして土佐藩政三百年間第一の政治家なりし野中兼山の采邑地なりき。兼山が其母を葬れる帰全山や、本山城址や清き吉野川の流れや、今なほ歴々として、目睫の間に在り。大社の願開舟、この

吉野川の上流より流れ流れて、大社に漂着せり、驚喜せざるを得んや。天明年間の事にて、国禁ありければ己むを得ず、一念をこの舟に込めて流したるものありき。この舟吉野川を下り下りて海に出でしに相違なきも、四国九州の南を廻りしか、北海を廻りしか、鳴門を過ぎて瀬戸内海を通りしか、とにかく、三年を経て一念首尾よくも神明に届きける也。

大町桂月は出雲の奥地にも足を踏み入れ、出雲の名所旧蹟についての文を多く残していますが、願開舟の奇には、いささかの疑いも差しはさんでいません。

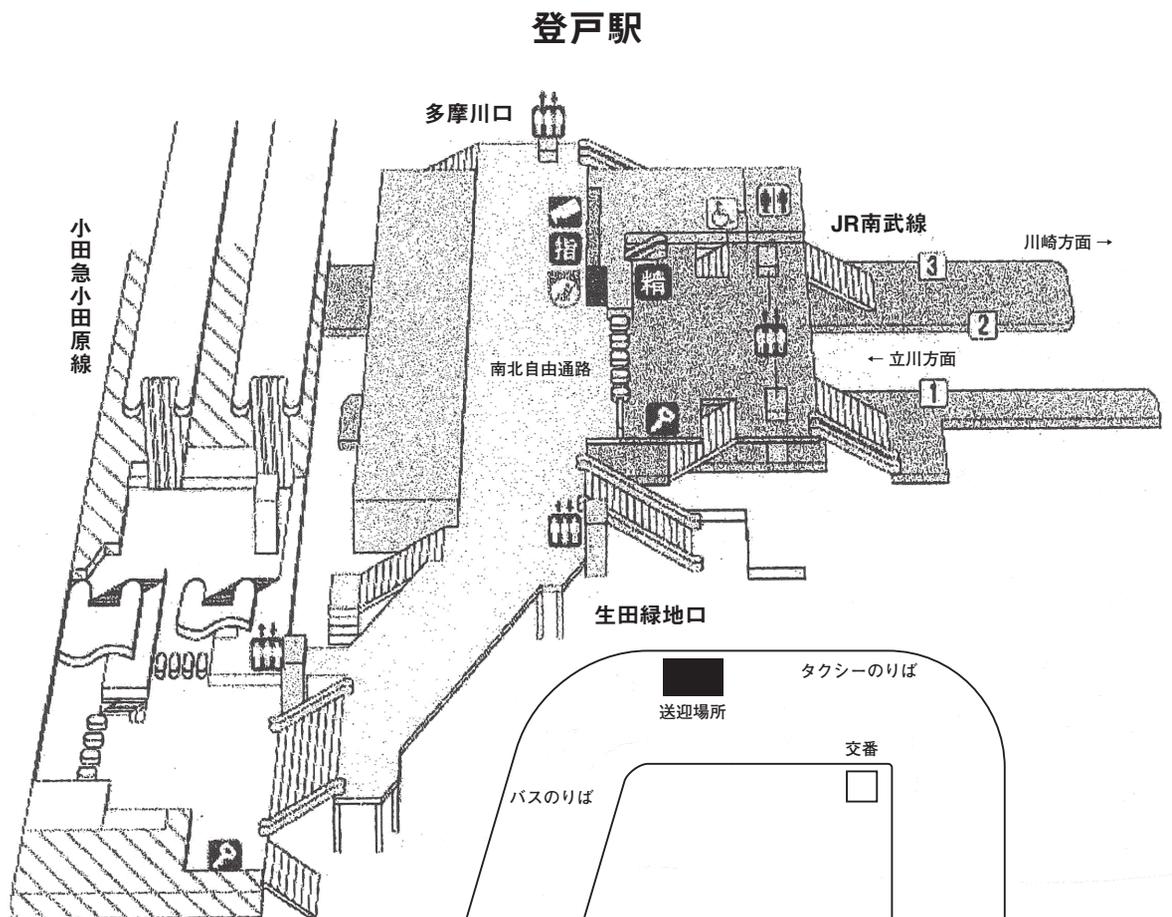
この願開舟の話は、有名な話ですが、稲佐の浜に漂着した事そのものが、神業以外の何ものでもない様な気がします。

この話を信じるも信じないも自由ですが、出雲大社では、真実として伝わっている事だけは間違いありません。



送迎駅について

一昨年から、送迎場所が、向ヶ丘遊園駅より登戸駅に変わりましたのでご注意ください。詳細は、下記の通りです。



御遷座祭について

引越しをされたら、すみやかに心友会へ新しい住所をお知らせして頂くのはもちろんですが、荷物整理をされて、ある程度家の中がおちつ

いたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。

その際、用意する物は、御初穂、御神体（大団様）、御神饌（鯛二匹、野菜七種類、赤飯）です。（御神饌は、末広

会でも用意出来ます。御希望の方はお申し込み下さい。

い。あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

五月〜七月の行事予定

五月

九日(日) 年祭 正午

九日(日) 総代会 四時

三十日(日) 春季例大祭 正午

六月

閉扉祭 三時

四日(金) みたま祭

五日(土) みたま祭

六日(日) 年祭 正午

六日(日) 総代会 四時

八日(火) 祖霊廟・祖霊社祭 二時

二十七日(日) 大祓祭 二時

七月

四日(日) みたま祭

五日(月) みたま祭

七日(水) 分宮詣り

十一日(日) 年祭 正午

十一日(日) 総代会 四時

二十五日(日) 水子冥福祭 二時

御伺日の予約について

☆3の日 (3日・13日・23日)
9:30~11:30 (午前の部)
13:00~15:30 (午後の部)
☆8の日 (8日・18日・28日)
9:30~11:30 (午前の部のみ)
午後1時より月並祭 (時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。
お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。
044-976-0708

五月三十日(日)

春季例大祭 正午

毎年、春と秋の年二回、本殿に於て行われる最も大きな御祭です。
また、日頃の感謝の気持ちを形に表わす絶好の機会でもあります。
大祭当日は、正面の御扉が開き、大神様からの波長(恩頼)を直接頂けますので、万障お繰り合わせの上おまいり下さいませ。
尚、大祭当日より衾掛の着用となりますのでご注意ください。(祝詞本をお持ち下さい。)

六月八日(火)

祖霊廟・祖霊社祭 二時

月並祭終了後、祖霊社にて仕えさせて頂きます。
出雲の祖霊廟に鎮まられているみたま様と祖霊社の祖霊壇に鎮まられているみたま様の御供養を合同させて頂きます。
尚、当日は御遺族の方々による直会がございますので、おまいりされる方は、六月一日(火)までに、社務所へお申し込み下さい。

七月二十五日(日)

水子冥福祭 二時

様々な事情で、水子さんがいらつしやる方々が、合同でご供養させて頂く為の年に一度の慰霊祭です。
生まれた子供さんの存在は忘れませんが、水子さんの存在は、毎日に記憶が薄れていってしまいます。
しかし、この世に生を受けた自分達の子供である事に間違いはないのです。
尚、当日は代参もお受け致しますが、なるべく直接おまいり下さい。
また、御霊璽をおつくりする都合がございますので七月十五日までに社務所までお申し込み下さい。(当日は、昨年の御霊璽をお忘れなくお持ち下さい。)

六月六日(日)・七月十一日(日)

年祭(感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。
月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粹に感謝の気持ちを大神様に御奉告申し上げる機会でもあります。
ハガキでご案内させて頂きますので、必ず出欠のお電話を下さいませ。

六月四日(金)・五日(土)／七月四日(日)

みたま祭(祖霊社)

お申し込みの際必ず、御供養ご希望のみたま様の生前のお名前、亡くなられた年月日、享年、続柄をお知らせ下さい。
尚、原則と致しまして、各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせて頂きますので御了承下さいませ。(他の月のみたま祭は、ご相談下さい。)

当日は、登戸駅生田緑地口よりお迎えのマイクローとワゴン車が出ておりますので、ご利用下さいませ。

大祓祭 二時

人間は、知らず知らずのうちに言葉などで、人を傷つけているものです。
こうした半年間の罪穢れを祓い清めて、新たな気持ちで、明日からの生活を始める為の御祭が大祓祭です。
当日は、大祓詞を三回奏上し、その時発せられる言葉(言霊または音霊)によって、自分自身の魂を浄化して、更には切麻によって身を清めます。
当日は祝詞本と衾掛を必ずお持ち下さい。

閉扉祭 三時

午後三時より、春季例大祭でお開けした御扉を、大祭当日の御加護に感謝して、大神様に御礼の祝詞を奏上し、お閉めする御祭でございます。

正確には、この閉扉祭までが大祭でございますので出来るだけ参列下さい。

喪葬

☆三月十一日に中野区新井にお住まいの宮川徳子様のお母様、丸山好江様が九十一歳で、帰幽されました。

丸山(宮川)家の御遺族の方々には、慎んでお悔やみを申し上げると共にみたま様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。
尚、通夜祭・告別祭は、神式にて厳肅にお仕え申し上げます。

みたま祭だより

三月
井田家 中西家 若林家
後藤家 天木家 安井家
熊野家
四月
滝本家 加藤家 土屋家
長友家 木村家 小野家
矢野家 若林家 宮本家
黒川家 林家
以上の家々の御供養を、御奉仕申し上げます。

※編集後記はお休みします。